愛宕坂だより

春号　No.84　2026.4.20

発行：福井市愛宕坂茶道美術館・福井市橘曙覧記念文学館

福井市愛宕坂茶道美術館　企画展

茶の湯で出会う　菓子の器

開催中～6 月 21 日(日)

茶席を彩る器の中に、菓子を入れる菓子器があります。茶の湯では、季節に合わせて、そして茶席のテーマにあわせて、様々な意匠の菓子器が登場します。見ているだけでも楽しいものですが、形による使い分けや文様がもっている意味がわかると、さらに興味が深まります。

さて、この器にはどんなお菓子を盛り付けましょうか。どうぞ想像しながらご覧ください。

会場では美しい菓子器のほか、和菓子の歴史や和菓子の神様を祀る菓祖神社のこと等もご紹介しています。

◆展示解説　　※要観覧券

5 月 17 日(日)、6 月 14 日(日)

いずれも 14 時から 30 分程度

福井市愛宕坂茶道美術館　企画展

すごいぞ、狩野派。

6 月 26 日（金）～10 月 18 日(日)

室町時代中期から江戸時代末期まで日本の画壇の中心で活躍した専門画家集団である狩野派の画をご紹介します。

福井市橘曙覧記念文学館　新収蔵品展

前期 初公開！野村家旧蔵資料を中心に

開催中～6 月 7 日(日)

後期 四季のうつろいを楽しむ

6 月 13 日(土)～9 月 6 日(日)

橘曙覧門人であった野村淵蔵（恒見）のご子孫よりご寄贈いただいた資料を中心にご紹介しています。

野村淵蔵（恒見 1821-1909）は、福井藩高知席稲葉家の家臣でしたが、情報探索の能力に優れていたことから、細作(密偵)として藩の諜報活動を行いました。嘉永 7 年(1854)のペリー来航時には現地の様子を詳細に伝えています。また、橘曙覧に和歌や国学を学び、親交が深かった人物です。明治維新後は、茶人として福井の門下生を指導しました。

前期展では、当館に寄贈された新収蔵資料とともに野村淵蔵の活動や曙覧との関係を紹介します。後期展では、野村家の資料を四季にわけて展示します。和歌や絵を通して、季節の移り変わりをお楽しみください。

◆展示解説　　※要観覧券

4 月 25 日(土)、6 月 20 日(土)

7 月 12 日(日)、8 月 22 日(土)

いずれも 14 時から 30 分程度

茶道館･文学館連携企画

2026 年は午（馬）年であること、文学館の新収蔵品展資料に馬の絵が含まれていることから、お馬さんの形の練切･菓銘「すべて馬くいく」をご用意します。展示観覧とともにお楽しみください。

とき　5 月 23 日(土)

①13:30～　②14:30～

料金：900 円(菓子・抹茶代、両館観覧料込)

定員：各回 10 名

申込：5 月 2 日(土)9 時より

電話受付(0776-35-1110)

※都合により、内容や日程が変更になる場合があります。最新の情報はﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等でご確認ください。

いろいろトピックス

◆美術館　◆文学館

◆大福茶の呈茶

1月10日(土)、11日(日)、大福茶の呈茶を行いました。大福茶とは、緑茶に結び昆布と小梅が入ったもので、1年の無事を願う、めでたいお茶です。

今年は期間中の来館者が多く、たくさんの方にお茶を飲んでいただくことができました。

◆愛宕坂でお茶しましょ♪ 季節のお菓子と抹茶

手作りの和菓子を楽しんでいただく企画、「愛宕坂でお茶しましょ♪」として、1月24日(土)「花びら餅」、3月1日(日)「ひちぎり」を開催しました。

3月の「ひちぎり」とは、宮中ゆかりの雛祭りの和菓子です。引きちぎった形をした草餅の上に餡がのっています。

会場には100年ほど前の古いお雛様を飾りました。参加者は、お菓子とお雛様と一緒に写真を撮るなどして、とても楽しんでいる様子でした。

◆桜茶の呈茶

4月4日(土)、5日(日)の両日、桜茶の呈茶を行いました。今年用意した桜茶は、花びらがとても大きく豪華な桜で、来館者に大好評でした。天気にも恵まれて、にぎやかな2日間となりました。

◆曙覧さん焼印おまんじゅうの呈茶

4月10日(金)～12日(日)に、曙覧のイラストが焼印で押された饅頭を提供しました。

昨年に引き続き開催した企画ですが、今年は饅頭が小麦饅頭から上用饅頭へとグレードアップ。曙覧焼印の仕上がりもばっちりで、春らしくほんのりピンク色に色付けされた可愛らしい饅頭に、訪れた皆さんは大変喜んでいました。

「独楽吟 橘曙覧フォーラム ～たのしみは、あなたのそばに～」

令和8年1月31日（土）に、ハピリンホールにて福井テレビの主催で開催されました。

オープニングで、ロゼアダンススタジオの皆さんによる見事なパフォーマンスと独楽吟をもとにした「たのしみはダンス」が行われたあと、「独楽吟 橘曙覧短歌コンクール」に応募があった作品の表彰式が行われました。表彰式では、過去に受賞された船田愛子さん（第71回角川短歌賞受賞）、作品の審査をされた歌人・俵万智さんがビデオメッセージを寄せてくださいました。

その後、パネルディスカッションがあり、西行茂福井市長、角鹿尚計氏（橘曙覧研究家）、福井商業高校「橘曙覧を勝手に応援する会」4名の生徒さんと文学館学芸員が登壇しました。福井テレビ取締役相談役の光野稔氏が進行をしてくださり、各登壇者から意見が出され、様々な方向から独楽吟をみつめる場となりました。最後は、来場者全員で新井満氏作曲の楽曲「楽しみは」を合唱しました。

終了後は、出口にて「橘曙覧を勝手に応援する会」の皆さんが、曙覧ＰＲのために制作したポストカードを参加者に手渡ししてくださいました（カードは現在、文学館にて配布中です）。

フォーラムの様子は、YouTube 福井ﾃﾚﾋﾞﾁｬﾝﾈﾙ https://www.youtube.com/watch?v=FUiahC4CLT0）にてご覧いただけます。

ご出演いただいた方や企画してくださった福井テレビのみなさまに心よりお礼申し上げます。今後も橘曙覧＆独楽吟にご注目ください。

受講者募集のお知らせ

はじめの一歩！ 短歌2dayレッスン

これから短歌をはじめる方向けの入門講座です。短歌の基礎から学ぶことができます。

とき：7月4日(土)・8月1日(土)

13：30～15:30

講　師：足立尚計氏（現代歌人協会会員）

会　場：愛宕坂茶道美術館4階

受講料：1,000円（2回分）

定　員：20名(先着順)　※小学生以上対象

申込み：6/2(火)より申込フォーム、電話、FAX、メールで受付

申込ﾌｫｰﾑ

― 休館日のご案内 ―

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

展示替のため、下記の期間は臨時休館します。

愛宕坂茶道美術館　6月23日(火)～25日(木)

橘曙覧記念文学館　6月9日(火)～12日(金)

愛宕坂だより　春号　No.84（2026.4.20）

◆福井市愛宕坂茶道美術館
〒918-8007 福井市足羽1-8-5 TEL/0776-33-3933
e-mail:sado-a@grace.ocn.ne.jp
◆福井市橘曙覧記念文学館
〒918-8007 福井市足羽1-6-34TEL/0776-35-1110
e-mail:akemisan@grace.ocn.ne.jp
※3/1より両館のメールアドレスを変更しました